



2015-2016年度 R. I. テーマ



「篆刻」石崎 巖 会員



- ◆ 会長 木下 茂 ◆ 幹事 宮崎 繁幸
- ◆ 発行 会報委員会 12月担当 吉 野

第2336回例会 12月1日(火)

- ◆ 点 鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ 国歌斉唱
- ◆ ローターソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテストの唱和 職業奉仕委員会
- ◆ ゲスト
魚津警察署 署長 小林 弘幸 様
交換留学生 オリビア・スミス 様

ハッピーバースデー



12月3日
オリビア
スミスさん



12月7日
宮崎君

・12月6日 関 口 夫人

- ◆ 会長挨拶
今日から12月です。
気象庁の予報によれば、今季はエルニーニョ現象の影響で暖冬とのことですが、先週の北海道の猛吹雪を見ると、北陸も間もなく雪が近いと思われます。

先週末から冬タイヤの入替を始めました。

雪国の人は、降り積もる前の初冬が最も寒く感じるといいますが、それは体が慣れていないだけでなく、「雪のぬくもり」で大地は寒気を逃がしているそうです。

天から舞い降りる無数の小さな結晶の集まりは、台地を白く覆って寒冷から守り、一年の潤いの源となります。白い雪渓となって残る恵みは、安定した水の流れとなり、田畑へ清流となって供給します。

今朝、六郎丸のりんご園に今年のお歳暮の予約に行ってきました。

今年は気温のせいかわ糖が多く、小粒のためLサイズをそろえるのが大変ということでした。

さて、今月のロータリーは「疾病予防と治療月間」です。

扇谷先生の専門ですが、今年から公安委員の要職に就いておられるので、魚津警察署長さんの話をうかがうこととなりました。

後ほど拝聴したいと思います。

- ◆ 出席報告 (宮田委員)
 - ・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 20名 71.42%
 - ・欠席者 畠山君、原君、窪田さん、小林君、南君、鈴木君、関君、横谷君の諸君
 - ・前々回(2334回)の修正 なし

創立1968年(昭和43年) 5月27日〔第2610地区内創立順位19〕

例 会：火曜日 12:30 於. にいかわ信用金庫本店5 F TEL(0765)24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL(0765)22-0715

◆ 幹事報告

- 青少年育成魚津市民会議より
- ・ 平成27年度会議優良団体表彰事業募集について

☆ 12月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
12/8(火)	卓話担当：柴垣君 Rの友・情報紹介	信金5階
12/15(火)	クリスマス家族会	ホテルグランミラージュ
12/22(火)	クラブ年次総会：会長・幹事	信金5階
12/29(火)	休 会	

★ 12月のSAA補助

関口君・窪田さんの諸君です。よろしくお願ひします。

◆ ニコニコボックス

- ・ 扇谷一郎君：卓話を私に替わってしていただいた魚津警察署署長小林様に感謝して。

今週までの合計額 317,500円

◆ 卓 話 「魚津市における
高齢者対策について」



魚津警察署 署長
小林 弘 幸 様

1 高齢者死亡事故の実態と対策

- (1) 県下の高齢者死亡事故の実態 (11月29日現在)
 - ① 交通事故死者数 全 体…63人 (+22人)
高 齢 者…46人 (+24人)
構成率73%
 - ② 年齢的考察 (高齢者の基準65歳以上)
 - ア 歩行者 19人 (うち80歳以上15人) 構成率79%
 - イ 自転車 8人 (うち80歳以上 6人) 構成率75%
 - ウ 車 両 19人 (うち80歳以上12人) 構成率63%
 - 全体の構成率72%
- (2) 魚津市の高齢者死亡事故の実態 (11月29日現在)
平成25年5月17日以降死亡事故なし (927日連続なし)
人身事故 (第一当事者) は、(10月31日現在)
 - 全事故 102件 (-16件)
 - 高 齢 者 26件 (-16件)
 - 高 齢 者 の 構 成 率 35.6% → 25.5%
- (3) 対策
 - ① 大型スーパー付近における夕方の街頭指導の徹底
 - ② 高齢者世帯に対する訪問指導「触れ合い訪問」
 - ③ 老人会等での指導

2 特殊詐欺対策 (魚津市)

高齢者被害については、

昨年 6件 1億円の被害
 本年 1件 600万円の被害

対策

- ① 老人会等での指導 (しんきろう劇団)
- ② 各銀行における水際対策

3 総括

今後も高齢者の構成率が増加→さらなる対策が必要

第2337回例会 12月8日(火)

- ◆ 点 鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ ロータリーソング 「我等の生業」

ハッピーバースデー

・ 12月16日 木 下 夫人

◆ 会長挨拶

12月に入り、今年1年をふりかえる時期になりました。
 それは、仕事、家族、政治経済、文化芸術、スポーツ
 といういろいろよみがえります。

平成27年は、江戸初期の書家、陶芸家、芸術家として
 知られる、本弥陀光悦が、京都・鷹峯の地に「光悦村」
 と呼ばれる芸術村を拓いてからちょうど400年。

「琳派400年記念」の展覧会や特別拝観が多くなされま
 した。

とりわけ京都国立博物館で開催の「琳派京を彩る」は、
 75年ぶりの公開品もあり、圧巻でした。

琳派は光悦と俵屋宗達に始まり、尾形光琳、尾形乾山、
 酒井抱一らによって大成された現代に通じる流派で、こ
 れぞ日本の美と呼べるものです。

いかめしいのにどこかひょうきんな風神雷神や、野分
 や雨でたおやかに曲がった草花、そして墨痕が鮮やかな
 書。

足を運ぶと、日本美術の一大潮流に浸ることのできる
 展覧会の数々でした。

ちなみに、京都東山での特別展は、前期で20万人を越
 えていました。

今年、東京世田谷の静嘉堂文庫美術館の「宗達・光琳・
 抱一とめぐる美の世界」が最終のようです。

◆ 出席報告 (南副委員長)

- ・ 出席率 会員30名中(出席免除者2名) 22名 78.57%
- ・ 欠席者 芦崎さん、原君、宮田さん、鈴木君、
関君、吉田君の諸君
- ・ 前々回 (2335回) の修正
メーク・アップ 加納さん 78.57% → 82.14%

◆ 幹事報告

○ 国際ロータリー第2610地区より

- ・ 2015-2016年度書損じハガキ回収のご協力お願ひ

○国際青少年交換委員会より
・青少年交換学生帰国報告書

☆12月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
12/15(火)	クリスマス家族会	ホテルグランミラージュ
12/22(火)	クラブ年次総会：会長・幹事	信金5階
12/29(火)	休 会	

★12月のSAA補助

関口君・窪田さんの諸君です。よろしく申し上げます。

◆ ニコニコボックス

・鍛冶義明君：会葬の御礼

今週までの合計額 332,500円

◆ 卓 話 「識字率向上について」



稲垣 尚 一 君

まずは子供達の未来をつくる。ロータリーの重点分野の1つに「基本的教育と識字率の向上」があります。ロータリアンは識字率向上のために、何ができるのでしょうか。教師の養成、(低所得国の中・高教師の3割強は、教師養成訓練を受けていません。)学校備品を提供する。生徒への支援、(課外活動のボランティア。入学・通学しやすい環境を整える。生活指導ボランティアをする。)全世界で5,700万人の子供が教育を受けていません。7億7,400万人の成人が読み書きができません。特に女性が多いです。

家事や家計をささえる人手としての少女の必要性があります。少女の教育機会を妨げている障害を取り除き、生徒、親、教師、学校側がロータリアンの活動をサポートさせるようにする。

私は世界が平和であれば、識字率向上は困難では無いような気がします。

「平和」というのは良く耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でもよく聞きますし、ロータリーでも頻繁に口にする言葉ですが、私達は、「平和」とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考えたことはありません。一番簡単なのは「平和」ではない状態がどのようなかを語ることでしょう。つまり、戦争や暴力や恐れることがある状態のことです。飢餓や、弾圧や、貧困を恐れることがある状態です。「平和」は、発言と選択の自由であり、自己決定の権利であると定義できます。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。そしてもっと抽象的に

言うと、幸福感や心の平穩、静かさであるとも言えます。

ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育など人々の基本的なニーズに、最も必要とされている地域で応えることができます。そして、友情、つながり、思いやりといった、私達の心のニーズにも応えることができます。さらに、国や民族間の友情と寛容を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」を、つまり、互いを理解し合う後押しをしてくれるのです。

ロータリーの奉仕を通じて、私達は、大きな問題のように見える事でも、力を合わせれば解決することを学びます。自分と違った境遇の人々と知り合うことで、人は皆同じであると理解できます。

ロータリーの奉仕を通じて、私達は、何かを達成しようとするなら、対立より協力を選ぶのが得策であることを知ります。他の人の長所と短所、両方を尊重することを理解します。そして、どんな人からも必ず得るものがあり、教えられるものがあることを学びます。

ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分のためだけでなく、社会全体のためを考えます。

戦後に育った私達が、それほど平和を重視するのは、当たり前かもしれません。日本で軍国主義の台頭の結果を経験した世代は、自分達の考え方を換え、平和を選ぶ大きな決断をし、その結果、目覚ましい経済発展を目にしました。この決断があつてこそ、日本は成長と繁栄を遂げることができたと思います。これによって、次世代の子供達が安全な暮らしを送り、教育を受け、暮らしを向上させることができたのです。この決断は、日本人の世界に対する見方と、自国に対する味方を根本的に変えました。日本人は心を開き、寛容を学び、もっと深く世界を理解するようになりました。さらに、平和を選択したことによって、私達はより前向きな目標に力を注げるようになりました。個人のニーズより、社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない、伝統的な価値観です。

田中作治氏の「奉仕を通じて平和を」という概念に同調します。



